

メガホーン

2023 SUMMER Vol. 16

発行：富岡町図書館

特集
図書館に本がやってきた。



作業台の段ボールから覗いているのは…？

富岡町図書館にやってきた新米図書ブックくん。これからどんな出会いが待っているのでしょう。期待に胸が膨らみます。「はやくたくさんの人に会いたいな」

極地絶景 緯度別に見る北極パノラマ
クント・フェアラーク／編、青木 終／訳
(グラフィック社、2020年)



北緯90度から60度まで緯度別に、北極圏と北極線を取り囲む国々の絶景を捉えたパノラマ写真集です。白と青の深淵な世界、動物達のまっすぐな眼差し…。雄大な自然と共に生きる人々の暮らしを垣間見ることもできます。

冷蔵と人間の歴史
古代ペルシアの地下水路から、物流革命、エアコン、人体冷凍保存まで
トム・ジャクソン／著、片岡 夏実／訳
(築地書館、2021年)



野菜が生産者から家庭に届くまでの流通経路は、冷蔵技術なしには成り立ちません。天然の水を利用する古代から錬金術師の時代を経て、物理学に基づいた冷蔵・冷凍技術が確立するまでの変遷をたどります。

うまいビールが飲みたい！
最高の一杯を見つけるためのメソッド
くっくショウヘイ／著
(リトルモア、2022年)



夏といえば、キンキンに冷えたビール！…ところでそれ、適温ですか？
自分好みのビールの選び方や、相性抜群のおつまみ、きれいな泡を作る注ぎ方まで「ただ飲む」を「よりおいしく飲む」に変える小技が満載です。

「怖い絵」で人間を読む
中野 京子／著
(日本放送出版協会、2010年)



綺麗な一枚の絵画が、本書を読むと一転、思いもよらぬ姿を見せる驚き！時代背景や人間模様を知ることで西洋絵画がぐっと身近に感じられます。また、その絵に込められた負の感情の爆発に「げに恐ろしきは人間なり」という言葉が浮かんでくる一冊です。

今回のテーマ
本、冷えます。

図書館員のおすすめ本

キーンとしたり、ゾッとしたり…涼しくなる本を集めました。いちばん省エネな「涼」をとる方法は読書かも？！

かき氷 天然氷をつくる
細島 雅代／写真、伊地知 英信／文
(岩崎書店、2015年)



暑い日に食べたくなるかき氷。お店では飾りつけが工夫され、見て楽しく食べておいしい夏の楽しみの一つです。天然氷とは、自然の力を利用して作られる氷のこと。明治時代から「氷池」という専用の池で作られています。その丹念な工程を覗いてみましょう。

いますぐ食べたい！冷凍食品の本
西川 剛史／著
(自由国民社、2022年)



保存が利いて、すぐに食べられる。そして何よりおいしい！たゆまぬ開発努力と技術が結晶した至高の時短アイテム・冷凍食品。冷凍王子と呼ばれる著者の、冷凍食品好きによる、冷凍食品好きのための一冊！どうぞご賞見(味)あれ。

屍鬼
小野 不由美／著
(新潮社、2002年)



死者を土葬する風習が残る村。猛暑の夏、異変が始まる。死者が復活し、人間を襲う屍鬼となって、じわじわと村を侵食していく…。
人間と屍鬼、それぞれの視点から恐怖や苦悩、葛藤が描かれ、ページをめくる手が止まらなくなります。

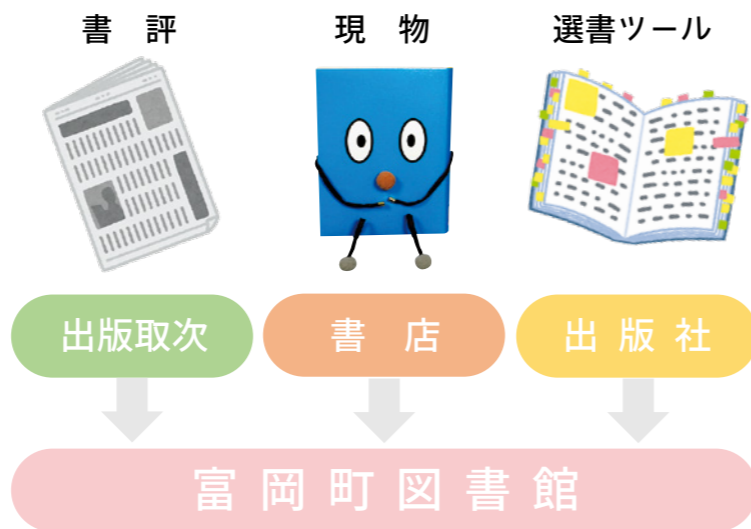
図書館の棚に1冊の本が並ぶまで

地域の財産である、図書館の本。一体どこからやってきて、どうやって読者の元に届けられるのでしょうか。新米図書ブックくんと一緒に、その過程をたどってみましょう。

あなたに必要な1冊をいつでも手渡せるように——選書

図書館に並べる本を選ぶときは、独善的にならないよう細心の注意を払います。判断の基準はさまざまありますが、特に「その情報は正確か」「蔵書全体で見たときに偏りが生じないか」気を配ります。

富岡町図書館では図書館員全員が選書に携わり、購入する本を選んでいきます。幅広い知識を蓄えておくためには、あらゆる視点からの意見が重要です。



本が届いた！——検品・登録

まず、納品された本が注文した本に相違ないか確認します。次に、落丁や乱丁、汚れなどの不備がないかをチェックします。

そして、それらの図書データや背ラベルに間違いがないかを確認し、1冊ずつ図書館システムに登録します。この作業により、機械で本の検索や貸し出しができるようになります。

この1冊をたくさんの人に長く使ってもらえるように——装備



いよいよお披露目！——棚出し・貸出

毎週末、新着図書の展示棚に貸し出しの準備ができた本を展示します。

本の表紙が見えるようにすることで、利用する方の目にとまりやすくしています。

お好みの本がありましたら、迷わずお借りください。自動貸出機もご活用ください。

1) バーコード と 2) ICタグは、本を図書館システムに登録するために必要なものです。これにより、本を正しく管理します。

3) 背ラベル は 同じテーマの本が近い場所に集まるようにする目印、いわば「本の住所」です。たくさんの中の本の中から、必要な本を、素早く見つけられるようにしています。

4) ブックコート は 資料の表面全体を透明のフィルムで覆い、汚れたり破れたりするのを防ぎます。



あっ！どうしよう…。

本の取り扱いについてのお願い

借りた本を破いてしまった・汚してしまった…という場合は、そのままの状態、なるべくはやく図書館へお持ちください。

このとき、自分で修理したり弁償の本を用意したりしないでください。

修理には専門の方法があり、買い替えが必要な場合でも一定の基準や条件があります。

なお、本を破損・紛失したことで図書館の利用に影響が及ぶことはありませんので、ご安心ください。

